

いのちの実相を観覧者と探る
第2期特別企画展ギャラリートーク



12月17日、神田日勝記念美術館で開催されている第2期特別企画展「神田日勝が見つめたいのちの実相」の「ギャラリートーク」が行われました。町内外の観覧者13人が参加。釜澤恵子学芸員が、展示作品をまわりながら、神田日勝の画業の変遷を当時の生活と合わせて解説しました。「室内風景」の前では、高度経済成長による情報化社会の到来で人間らしく生きることの難しさを日勝はいち早くつかんでいたこと、描かれた男性についてのエピソードやさまざまな解釈も語られました。

練習重ね 鹿追町民5人が出演
ミュージカル「卑弥呼」鹿追公演



12月11日、札幌の劇団「I'M(アイム)」のミュージカル「卑弥呼」鹿追公演（町民ホール事業実行委員会主催）が町民ホールで行われました。住民参加型ミュージカルとして鹿追町民5人も出演しました。地元出演者は、本番に向けてこれまで8カ月間、プロの劇団員からダンスや発声など表現方法について指導を受けてきました。公演当日は、約600人の満員の観衆が見守る中、魏国から侵攻を企てられる邪馬台国の人々を体全体で演じました。

元鹿追町代表監査委員
松本健次さんが旭日単光章受章



12月8日、「平成23年秋の叙勲伝達式」が役場応接室で行われ、松本健次さん（82歳）が旭日単光章を受章されました。松本さんは、昭和58年から平成15年までの20年間、鹿追町代表監査委員として町の行財政運営の健全化に尽力されるなど地方自治の発展に寄与した功績が認められました。伝達式では、吉田弘志町長や町議会議員が同席する中、十勝総合振興局佐藤副局長より勲章が手渡され、ねぎらいの言葉が送られました。

町の話
town's topics

11月

- 19/土 □上幌内小学校・保育所合同学芸会 □通明小学校・保育所学芸会 □音祭り
- 20/日 □鹿追幼稚園発表会
- 24/木 □第5回農業委員会総会
- 25/金 □鹿追町子ども大会
- 26/土 □アート・キッズ・クラブ
- 27/日 □瓜幕保育所発表会
- 28/月 □議会全員協議会 □生涯学習講演会「小惑星のサンプルから探る太陽系誕生の謎」
- 29/火 □鹿追町地球学特別講演会

12月

- 3/土 □鹿追保育園発表会
- 6/火 □第2期特別企画展「神田日勝が見つめたいのちの実相」～2/12
- 7/水 □平成23年第4回鹿追町議会定例会
- 8/木 □総務大臣表彰伝達（坂上隆太郎氏） □秋の叙勲伝達式（松本健次氏） □第9回日勝祭
- 10/土 □アート・キッズ・クラブ □白寿大学作品展～16日
- 11/日 □町民参加型ミュージカル「卑弥呼」
- 14/水 □第4回鹿追町議会定例会（一般質問） □議会全員協議会
- 16/金 □第38回白寿大学祭
- 17/土 □ギャラリートーク
- 18/日 □鹿追町小中高・教育大学釧路校吹奏楽部合同演奏会

年末年始に向け犯罪防止を啓発
歳末地域安全特別巡回



12月19日、「平成23年度歳末地域安全特別巡回出陣式」（町防犯協会主催）が、町経済観光交流館ほほえみプラザで行われました。地域安全への意識の再確認、年末年始に向け犯罪を防止することを目的として実施。町内の自主防犯組織や関係者約30人が参加しました。森住松夫会長は「周りに防犯意識を広めていきましょう」とあいさつ。防犯ビデオなどを視聴した後、特別巡回へ出発し、商店街を歩きながら買い物客らに啓発を呼びかけました。

ヌプカウシ白寿大学で「大学祭」
学習成果を発表し今年を振り返る



高齢者学級「鹿追町ヌプカウシ白寿大学」（町教育委員会主催、学長：小林潤教育長）で「白寿大学祭」が町民ホールで開催されました。「作品展」（写真）は12月10日から16日までストニープレインホールで実施され、学級生が大学講座や日常生活で作製した書道、俳句、手芸、工芸など350点の作品が展示されました。また、同16日には「交流会」がホワイトホールで催され、学級生や講師、社会教育委員ら関係者が集い、余興を楽しみながら一年の労をねぎらいました。

「馬の博物館」佐藤学芸員が講演
第9回日勝祭



12月8日、神田日勝生誕祭「第9回日勝祭」（神田日勝記念美術館友の会ほか主催）が町民ホールほかで開催されました。平成23年9月に神田日勝の特別展を開いた「馬の博物館」（横浜市）の佐藤美保学芸員が講演し、「素晴らしい感性の画家だ」など観客の声を紹介しながら展示会の様子や反響を伝えました。その後、会場を神田日勝記念美術館に移し、町内在住のピアニスト林久美子さんによるミニコンサートと交流会が開かれました。